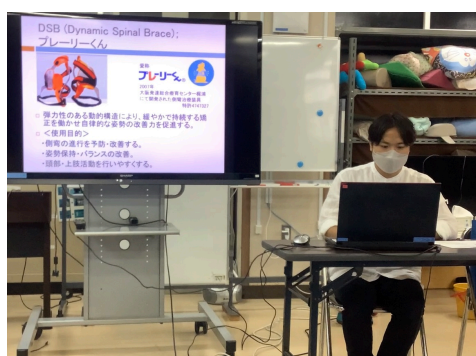


新転任研修PTを行いました。

令和5年 7月25日（火） 新転任研修

本校の福祉医療人材活用でご指導いただいている理学療法士の佐久間 啓文先生に、PTの内容でご講義いただきました。

まずは、脳性麻痺による運動機能への影響についてお話していただきました。麻痺が現れている身体部位の分類について、四肢麻痺、両麻痺、片麻痺、三肢麻痺、対麻痺、単麻痺があり、これらの症状がある場合は、共通して体幹の低緊張を示すことが多いことを説明していただきました。また、運動障がいの分類として、痙直型、不随意運動型（ジストニア、アテトーゼ）、失調型に分けられるが、実際にはこれらが混合していることがあることを教えていただき、それぞれに生じる運動の問題についてもご説明いただきました。



次に体幹、下肢装具の装着方法についてお話していただき、中でも本校の児童生徒もよく使用している、「プレーリーくん（体幹装具）」「短下肢装具」について、ご説明をいただきました。どちらも基本的な装着方法や注意点を教えていただく中で、教員が普段から疑問に感じていた「プレーリーくんの下ベルトのクッションの位置」や「プレーリーくんを衣服の上に着用するのかどうか」、「緊張が強い児童生徒の短下肢装具の履かせ方」などのたくさんの質問が挙がり、1つ1つに回答していただきました。

最後に安全で安心な移乗方法ということで、児童生徒への接し方のポイントや2人介助トランスファーの基本について、実技を交えて教えていただきました。まず、児童生徒に触れる際には、手の平で広く、ゆっくりと包み込むように接することで、介助される子どもたちが安心して受け入れられるということを説明していただきました。次に、2人介助で児童生徒の移乗をする際には、体をできるだけ児童生徒に密着させることや、児童生徒が元の姿勢に近い状態で持ち上げること、上体を支える介助者が先行して動き、下肢を支える介助者はそれに合わせて介助することなどのポイントを確認しながら、3人1組で実際に体験しました。

